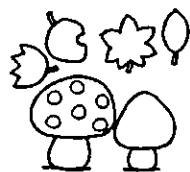


# こぐまぐみだより9月

2019.9.1.認定こども園 新宿ベアーズ



おたより担当

暑さも和らぎはじめ、これから過ごしやすくなっていくのではないのでしょうか。この時期は夏の疲れが出てくる頃なので、体調管理にも気を付けていきたいです。さて今月からは、日中の散歩を再開し、秋の自然探しや体を思いっきり動かすあそびの楽しさを感じる機会を多くもっていきます。

子どもたちの発見！思いに寄り添い楽しい日々を過ごせればと思っています。



楽しかった みずあそび



ビニールプールの中にタライを設置し、水に触れる経験をしました。タライの水面を叩いて水がはねて自分にかかることを楽しんだりジョウロやバケツで水が動くのを見たり、水の楽しみ方は子どもそれぞれです。

## 色水あそび★

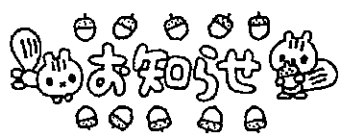
食紅を水に混ぜるときれいな色が、完成!!色を混ぜ合わせ変化する色水の観察したあとには、「ジュースみたい!」とごっこ遊びがはじまりました。

## こおりあそび★

手で感じる氷の冷たさやタライの中で氷が解けていくと中の水がどんどん冷たくなることに気が付いたり、小さくなっていく氷が最後にはなくなってしまったり、自然物の不思議さに触れる経験をしました。

## 寒天あそび★

プルプルする寒天をそおーと手の平にのせてみたり、握りつぶしたり、固まりを放り形が崩れるのを面白がったり、感触そのものを楽しみながらそれぞれが楽しいと感じる遊びを見つけていました。



9月からは水遊びの予定はありませんが、活動によっては汗ばむこともありますので、シャワーは引き続き行います。

タオルのご用意をお願いいたします。

## 今月のねらい

- ・簡単な身の回りのことを自分からやってみようとする。
- ・友だち、保育教諭と一緒にイメージを広げながら全身を使ってあそぶことの楽しさを味わう。

## 今月の予定

- 4(木)身体測定
- 10(火)避難訓練

## 2歳児は自分で考える力をもっている!

自我がめばえた子どもたちは、自分の好きなもの、お気に入りの物があります。気に入った物はあれも!これも!自分の物にしてしまいます。

この特定のこだわりは、それぞれが大事にしたい物への愛着心です!!

大好きな物はなかなか友だちに貸してあげられず、ぶつかり合う時期でもあります。その理由は、貸すという言葉の意味(一度は友だちの物になるけど、また戻ってくる)がわからないからです。

この時期大切なのは、貸し借りがスムーズに身につくよりも、まずは、自分の物にしたい気持ちを受けとめられ、やがて友だちの存在に気付いていくことです。大人はお互いの思いを聞き出し伝えます。ぶつかり合いの原因、事実を知らせるだけです。後は子どもが自分で考え、判断するのを待ちます。その時大人の考えを伝えることもあります。自分の主張を受けとめられた子どもは意外とお友だちにも分けてあげたり、貸してあげようとする気持ちがうまれてきます。

こうしたやりとりを積み重ねていく中で、心の中に社会性が育まれていきます。

## 午睡時エピソード

ある男児は眠る時に読んで欲しい本があります。ある日お気に入り絵本がどこを探しても見当たらず困る男児の姿にある女児が「絵本探してあげる」と一緒に探し始めました。しかし見つからないので「この本にしたら」と次によく見ている本を渡しました。午睡明け、カーテンを開けると窓のところにお気に入り絵本を発見!!すぐさま先ほどとは別の女児が「あったよどうぞ!」と渡していました。もちろん男児は「ありがとう!!」としっかりお礼の気持ちも伝え満面の笑みでした。

## 遊びの場面のエピソード

「貸して～」と伝えるとまさかの「あとで～」の返事!!その子は当然貸してくれると思っていました。すると会話を聞いていた女児がそばにある玩具を「どうぞ!」と渡しますが「これじゃない…」と言われ、同じ玩具を探しだし「あったよ」と再び渡します。今度は受け取ってもらえとても嬉しい様子。お友だちの様々な姿に自分なりに解決する方法を考えて行動をしたり、慰める姿が見られるこの頃です。